

# 学習評価 FIRST STEP —中学校英語科—

## 1 学習評価は何のため?

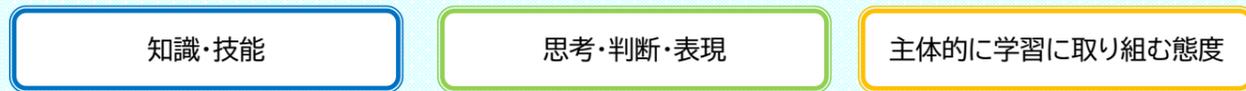
学習評価の目的は、生徒の資質・能力を育成することです。生徒の学習状況を適切に見取り、生徒の学習改善や教師の指導改善に生かすことが大切です。



## 2 学習評価の考え方

### (1) 評価の観点

育成を目指す資質・能力の三つの柱を踏まえ、以下の3つの観点で評価を行います。



### (2) 学習評価の枠組み

評価をする際は、3観点を五つの領域ごとに評価します。

3観点	五つの領域					観点別評価	評定
	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと		
知識・技能	b	b	c	c	b	B	3
思考・判断・表現	b	b	c	b	c	B	
主体的に学習に取り組む態度	b	b	b	b	c	B	

ポイント

3観点×五つの領域の15マスの評価結果を基に、総合的に観点別の評価を行います。

## 3 3観点において評価すること

各観点において評価することは次のとおりです。

	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと[発表]	書くこと
知識・技能	話されたり書かれたりしている内容を正確に聞き取ったり読み取ったりできるか		(特定の言語材料の) 英語使用の正確さ		
思考・判断・表現	話されたり書かれたりしている内容を聞き取ったり読み取ったりした上で、コミュニケーションを行う目的・場面・状況に応じて、「必要な情報」や「概要」、「要点」を捉えることができるか		コミュニケーションを行う目的・場面・状況に応じた表現内容の適切さ		
主体的に学習に取り組む態度	基本的に「思考・判断・表現」と一体的に評価する ★言語活動で表出された態度				

山田誠志「全国の実践から学ぶ 中学校英語教育35のポイント」を基に作成

ポイント

各観点における[評価方法]は次のとおりです。  
 「知識・技能」・・・ペーパーテスト、パフォーマンステスト など  
 「思考・判断・表現」・・・ペーパーテスト、パフォーマンステスト、活動の観察 など  
 「主体的に学習に取り組む態度」・・・活動の観察、振り返りの記述内容 など

## 4 学習評価の機能

### ○指導に生かす評価

生徒一人一人の学習状況を把握し、生徒の学習改善や教師の指導改善につなげるための評価のこと  
 ※生徒の学習改善や教師の指導改善のために、日々の授業の中で生徒の学習状況を絶えず評価することが大切です。毎時間生徒の学習状況を見取り、「指導に生かす評価」を行いましょう。

### ○記録に残す評価

観点別学習状況の評価を総括する際の資料となるよう、学習状況を記録する評価のこと  
 ※毎回の授業において、「記録に残す評価」を行う必要はありません。基本的に「単元終末」の言語活動と「後日」のパフォーマンステストやペーパーテストにおいて行います。

## 5 単元における学習評価の場面

時間	ねらい(■)、言語活動等(丸数字)	知	思	態	[評価方法]
1	■単元の目標を理解する。 ①キャリスさんからのビデオレターを見る。 ②自己目標を設定する。 ■佐賀の伝統的な食べ物について紹介する。 ③Interactive Teacher Talk (「佐賀の伝統的な食べ物」の紹介)を聞く。 ④「佐賀の伝統的な食べ物」について、ペアで紹介し合う。 ⑤教師と生徒がやり取りを行いながら、受け身の文(肯定文)の特徴に気付く。 ⑥「佐賀の伝統的な食べ物」について、再度ペアで話し合う。 ⑦「佐賀の伝統的な食べ物」の紹介文を書く。				本時では、「指導に生かす評価」を行います。 「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例) ・個別にやり取りし、受け身の文(肯定文)の特徴への気付きを促す(言語活動等⑤)。
2	■佐賀の祭りについて紹介する。 ①前時に行った「佐賀の伝統的な食べ物」について、教師とやり取りを行う。 ②Interactive Teacher Talk (「佐賀の祭り」の紹介)を聞く。 ③「佐賀の祭り」について、ペアで紹介し合う。 ④教師と生徒がやり取りを行いながら、受け身の文(肯定文)の特徴やきまりに気付く。 ⑤「佐賀の祭り」について、再度ペアで話し合う。 ⑥「佐賀の祭り」について、紹介文を書く。 ⑦教科書Part1の内容理解を通して、受け身(肯定文)の特徴やきまりを理解する。				本時では、「指導に生かす評価」を行います。 「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例) ・個別にやり取りし、受け身の文(肯定文)の特徴やきまりへの気付きを促す(言語活動等④)。
3	■佐賀の自然について紹介する。 ①Interactive Teacher Talk (「佐賀の自然」の紹介)を聞く。 ②「佐賀の自然」について、ペアで紹介し合う。 ③教師と生徒がやり取りを行いながら、受け身の文(肯定文)の特徴に気付く。 ④「佐賀の自然」について、再度ペアで話し合う。 ⑤「佐賀の自然」について、紹介文を書く。 ⑥教科書Part2の内容理解を通して、受け身(否定文)の特徴やきまりを理解する。				本時では、「指導に生かす評価」を行います。 「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例) ・個別にやり取りし、受け身の文(否定文)の特徴やきまりへの気付きを促す(言語活動等③)。
6 7	■キャリスさんに紹介したい佐賀の観光スポットについて紹介する。 ①キャリスさんに宛てたビデオレターを作成することを確認する。 ②キャリスさんに紹介したい佐賀の観光スポットを決定する。 ③決定した観光スポットについての情報をワークシートに整理する。 ④ワークシートを基に、グループ内で発表し、その様子を1人1台端末で撮影する。 ⑤撮影した動画を見ながら、ビデオレターにおける英語使用の正確さ(言語面)と表現内容の適切さ(内容面)について、グループで意見交換を行う。 ⑥⑤で出された意見を基に、ビデオレターの修正を行う。 ⑦キャリスさんに宛てたビデオレターを1人1台端末で撮影する。 ⑧英語使用の正確さ(言語面)と表現内容の適切さ(内容面)から単元の学習を振り返る。				本時では、「指導に生かす評価」を行います。 「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例) ・ビデオレターの型を示し、それを基に紹介するよう促す(言語活動等④)。 ・意見交換の視点を提示する(言語活動等⑤)。
後日	パフォーマンステスト				本時では、「記録に残す評価」を行います。 ○○○ [発表]

「指導に生かす評価」は、毎時間、毎活動において行います。毎時間のねらいに即して生徒の学習状況を把握し、「指導に生かす評価」を行いましょう。

この単元において、「記録に残す評価」は、「後日」のパフォーマンステストにおいて行います。「記録に残す評価」は、基本的に「単元終末」や「後日」に行います。



学習評価の詳細については、佐賀県教育センターHP「[学習評価の進め方](#)」を御参照ください。

